

カリキュラムコード一覧

※15区分について、184コードを分かりやすく分類したものであり、登録理学療法士更新において、区分内で●ポイント以上取得しなくてはならないという要件はありません

2026年3月25日更新

区分：1	
1	プロフェッショナルリズム
2	リハビリテーション医学・医療
3	理学療法概論
4	個別指導・集団指導
5	患者・対象者（家族を含む）教育
6	地域包括ケアシステム
7	地域リハビリテーション
8	医療保険サービスと理学療法
9	介護保険サービスと理学療法
10	保険外・自費と理学療法
11	医療と介護および福祉の連携
12	障害者総合支援法と理学療法
13	国際支援における理学療法
14	医療制度と法律
15	理学療法士及び作業療法士法
16	医療法ならびに関連職種の資格法
17	個人情報保護法
18	コンプライアンス（法令遵守）
19	理学療法政策

区分：2	
20	医療マネジメント
21	医療情報(記録・保存)
22	チーム医療・多職種連携
23	理学療法管理・学
24	信頼関係の構築と協働作業の実践
25	病院施設におけるBCP
26	救急救命
27	医療安全・安全管理
28	感染対策
29	感染と理学療法
30	災害医療
31	災害時の理学療法

区分：3	
32	医療倫理：医療倫理と臨床倫理
33	医療倫理：研究倫理と生命倫理
34	治療者-患者関係とコミュニケーション
35	医療面接
36	臨床心理学、心理社会的アプローチ
37	臨床問題解決のプロセス
38	理学療法評価
39	画像評価
40	生理機能検査と解釈
41	問題点抽出と目標設定
42	ADL・IADL
43	臨床推論
44	治療プログラム立案
45	エビデンス（根拠）に基づく理学療法
46	予後予測
47	統計学
48	研究法

区分：4	
49	理学療法の基礎領域
50	基本的な理学療法治療技術
51	活動体としての人間理解：関節運動
52	活動体としての人間理解：基本動作
53	活動体としての人間理解：活動（運動）のメカニズム
54	神経・筋機能制御
55	薬理、薬物による人間の反応
56	褥瘡・創傷ケア

区分：5	
57	機能と構造、身体機能の低下
58	機能障害
59	活動
60	社会参加
61	個人因子と環境因子
62	運動麻痺
63	筋緊張異常
64	歩行・歩行障害
65	平衡機能障害
66	協調運動
67	筋力低下
68	意識障害、けいれん発作
69	視力障害、視野狭窄、視覚障害
70	聴覚障害
71	感覚障害
72	四肢のしびれ
73	頭痛・めまい

区分：6	
74	中枢神経疾患
75	高次脳機能
76	失語症
77	中枢神経疾患の理学療法
78	高次脳機能障害の理学療法
79	脳血管障害後遺症
80	脊髄損傷の理学療法
81	パーキンソン病関連疾患の理学療法
82	末梢神経障害
83	神経筋疾患の理学療法

区分：7	
84	骨関節障害
85	関節可動域障害
86	切断
87	骨粗鬆症
88	運動器疾患の理学療法
89	徒手理学療法
90	スポーツ分野における理学療法
91	障がい者スポーツ分野における理学療法
92	疼痛：急性痛
93	疼痛：慢性痛
94	疼痛：関節痛
95	疼痛：神経因性疼痛（中枢性・末梢性）
96	疼痛に対する理学療法
97	疼痛管理

区分：8	
98	呼吸障害
99	呼吸器疾患
100	呼吸理学療法
101	循環障害
102	運動耐容能
103	高血圧症
104	胸痛・動悸
105	循環器疾患の理学療法
106	心臓リハビリテーション

区分：9	
107	糖尿病、脂質異常
108	栄養・代謝障害
109	内分泌・代謝疾患
110	代謝疾患の理学療法
111	消化器疾患
112	腎・泌尿器疾患
113	生殖器疾患
114	血液疾患，自己免疫疾患
115	腫瘍
116	がんのリハビリテーション
117	リンパ浮腫

区分：10	
118	胎生期における発達過程
119	乳・幼児期における発達過程
120	小児期における発達過程
121	小児の疾患
122	小児・発達障害の理学療法
123	学校保健および特別支援教育における理学療法
124	周産期の理学療法
125	コンチネンス領域の理学療法
126	ウイメンズヘルス・メンズヘルスにおける理学療法

区分：11	
127	フレイル
128	廃用症候群
129	老年症候群
130	ロコモティブシンドローム
131	慢性疾患・複合疾患の管理
132	認知能の障害
133	認知症・MCIの理学療法
134	気分の障害（うつ）・不安
135	精神疾患に対する理学療法

区分：12	
136	咀嚼・摂食・嚥下
137	咀嚼摂食嚥下の理学療法
138	言語障害、嚔声
139	構音障害の理学療法
140	リハビリテーション栄養
141	耳鼻科領域の理学療法
142	再生医療と理学療法
143	ICT・AIと理学療法
144	ロボットと理学療法
145	住環境
146	支援工学
147	義肢
148	装具
149	福祉用具

区分：13	
150	予防と保健
151	健康概念と健康寿命
152	健康維持・健康増進における理学療法
153	介護予防における理学療法
154	地域保健
155	産業理学療法における理学療法
156	メンタルヘルス
157	各ライフステージの人間理解
158	臨床実習と教育
159	スタッフ教育と教育システム
160	コーチング・ファシリテーション

区分：14	
161	急性期の理学療法
162	周術期の理学療法
163	回復期の理学療法
164	生活期の理学療法
165	地域医療と理学療法
166	在宅医療と理学療法
167	終末期の理学療法
168	緩和ケア
169	訪問理学療法
170	通所理学療法

区分：15	
171	地域ケア会議と理学療法
172	キャリアデザイン
173	物理療法
174	運動制御
175	バイオメカニクス・人間工学
176	運動学習
177	スポーツ障害の予防と管理
178	生涯スポーツと理学療法
179	上肢スポーツ障害
180	下肢スポーツ障害
181	腎臓のリハビリテーション
182	産前産後の理学療法
183	公衆衛生と理学療法
184	動物の理学療法